

## 令和7年度（相模田名高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
個人情報管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会の事故不祥事防止啓発資料やチェックシートを職員に配付して、意識啓発を図った。職員の意識を向上させ、個人情報の漏洩に日常的に取り組み、事故発生件数ゼロを達成することができた。</li> </ul>
財務事務等の適正執行	私費会計の適切な執行についての認識を深め事故の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝票の起案時に「私費会計基準」や「私費会計事務処理の手引」について、具体的な改善を通じて、適正な予算編成と公正な執行管理に繋げた。</li> <li>監査などの機会を捉えて、業務アシスタントと連携して執行状況を確認し、指摘事項に対して、具体的な改善を行い、事故発生件数ゼロを達成することができた。</li> </ul>
業務執行体制の確保	各種業務執行に際して、教職員の意識やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な起案を徹底させて、職員間の情報共有体制の充実とともに業務の効率化に繋げた。</li> <li>入学者選抜業務、調査書の作成・発行、テスト問題の作成及び成績処理に対する当事者意識の向上と、作業手順の必要な見直しを通して、事故発生件数ゼロを達成することができた。</li> </ul>
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	パワハラ、セクハラ、マタハラ等をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員対象の研修を実施し、職員一人ひとりの人権意識を高め、ハラスメントへの意識喚起と行動の変化に繋げることができ、発生件数ゼロを達成できた。</li> </ul>
体罰、不適切指導の防止	体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁護士による職員対象の研修を実施し、職員の人権意識を高めることができ、発生件数ゼロを達成できた。</li> </ul>
交通事故防止・酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故の発生を未然に防止するとともに酒酔い、酒気帯び運転のゼロを維持する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故、酒酔い、酒気帯び運転防止のための研修を実施し、職員の当事者意識を高めることができ、発生件数ゼロを達成できた。</li> <li>適切な機会をとらえて、職員に事前に声掛けを行って、事故の未然防止に役立てた。</li> </ul>
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	職員行動指針を再確認し、勤務時間外や職場外の行動についても、教育公務員としての高い倫理観を持って行動する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞記事や記者発表資料などを活用して、日常的に意識啓発に努めた。自己点検等を実施して、職員個々の当事者意識を高め、法令遵守（コンプライアンス）の実践に繋げた。</li> <li>職員への個別面談などを通して、不祥事を未然に防ぐことができ、さらに教育公務員としての意識を啓発する時間を設定し、発生件数ゼロを達成できた。</li> </ul>
政治的中立性の厳守	県民の信頼を損なうことのないよう、厳正な服務規律の確保に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が教育の政治的中立性に対する疑惑を招く行動をとらないよう、啓発資料等を用いて注意喚起を行うとともに、行動観察に注力した。</li> </ul>

施設・設備の安全確保と管理	施設・設備の安全確保と管理により事故防止に努める。	・事務室と連携して、施設・設備に対する日常業務における点検及び危険箇所の確認を日々呼びかけ、課題がある場合は速やかに対応した。
---------------	---------------------------	---

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

本年度も引き続き、「若手教員による自主的な研修会」や職員への個別指導を活用して、教職員間の対話を促進し、安全安心な職場づくりを進めることができた。さらに、職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止については、事前に情報収集に注力し、初期段階において、問題を正確に把握し適切な問題解決に繋げ、不祥事には至る前段階で解決することができた。一年を通して、職員一人ひとりがアンテナを高くして、各自の当事者意識を醸成し充実した事故・不祥事防止に取り組むことができたことは大きな成果である。

来年度は、引き続き次の2点を重点化して、不祥事ゼロに向けて全力で取り組む。

- (1) 外部講師（弁護士等）による研修会の実施
- (2) 職員への個別面談